

巻頭のことば 「決意」

11月中旬まで季節外れの暖かい風が吹いておりましたが最近めっきり寒くなりました。これから年の瀬の慌しさと、年始の誓いの行事が待ち受けています。

一年は早いものです。少々早いですが今年一年を振り返りますと、やはり3. 11のあの時です。

東京に住む私もあの3. 11の揺れは身体のみならず脳内に杭が打ち込まれた如く強烈な記憶を残しました。

隣接するビルと共振し船上にいる様な大きな揺れ。街には交通手段を失った人たちが漂い夜遅くまで道を覆い尽し、今まで歩くことを想定していなかった道を探し家路を急ぐ。6時間、7時間ひたすら歩いた人も多い。

携帯電話はただの薄い板。家族とのコンタクトが取れず不安が増す。断続的な余震に構え、そして次々にTVに映し出される津波の映像に怯える。

都市圏人口は3,500万人いると言われていますがその殆どは都区外に住み、昼夜問わず世界で最も

激しい人の移動が正確無比なメカニズムで行われています。しかし、この地震により多くの人たちは、そのメカニズムがいかにFragile (脆弱) な土台の上に構築されているのかを実感した筈です。

東京での個人的体験など被災地東北で起きた悲劇に比べれば実に‘小さい’ことです。しかし私はこの‘小さな体験’を通じて街づくりで最も大切なことは何かについて深く考えさせられました。

我々が現在進めている「道の駅エコステーション化計画」は道の駅に関連するテーマとして究極的なモノだと思っています。単なるエネルギー論とか情報通信ネットワークではないです。突き詰めればコミュニティのあるべき姿だと思っています。

道の駅エコステーション化計画については各方面から良い反応を頂いています。実現に向けて地域、企業の力を結集して一つひとつ課題をクリアしていきたいと思います。

ふすく なおき

未知倶楽部 賦勺 尚樹

目次

巻頭のことば p02	決意
特集道の駅アンケート p03	道の駅エコステーション化計画アンケート調査
特集企業アンケート p06	道の駅をエコステーション化するための製品・サービスを提供する企業の紹介
九州・山口道の駅探検記 p11	山川港活お海道、竜北
北海道の未知倶楽部ドライブ p13	サロマ湖
お知らせ p15	新規掲載の道の駅、等